

施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	3・1・3	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
②	施策名	防災・減災のまちづくりの推進			○		
③	目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合					
④	現状と課題	<p>◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかかげる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。</p> <p>◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、町民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一体となって推進していく必要があります。</p> <p>◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない産地で落ちています。また出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が仮置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。</p>		施策の内容	各地で異常気象や集中豪雨による浸水被害が発生するなど以前とは異なった自然災害が増加していることから、災害に強い、安心・安全のまちづくりに向けて、防火・防災施設の充実により、消防力や緊急時の対応能力を高めるとともに、防災、危機管理に対する町民の意識の向上を図ります。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
自主防災組織の結成率	%	78.0	81.6	85.7	92.0	95.5	100.0
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
自主防災組織の結成率	%	78.0	81.6	85.7	92.0	95.5	100.0

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	91,154	76,374	93,497	108,364	92,864

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<p>消防施設の維持補修、水防団への資機材支給に加え、平成27年度から継続的に水防技術習得の訓練等を行った。</p> <p>また、水防法改正に伴い、防災ハザードマップを改正し全戸配布を行った。</p> <p>これらの取組により、東北水防技術競技大会においては、本町消防団が県内初の優秀賞(第2位)を受賞し、本町消防団の士気や技術の高さを示すことができた。</p> <p>また、町民の防災に対する意識向上も図られ、自主防災組織の結成率も着実に高くなってきている。</p>	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<p>消防団員の技術は向上してきているが、団員数の減少傾向は続いていることから、活動に必要な人員の確保に努める。</p> <p>また、自主防災組織については、引き続き未結成地区の解消に向けて周知・支援活動を行うとともに、活動が停滞している自主防災組織が活性化できるよう取り組みを行っていく。</p>
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	見直しのうえ継続	<p>【説明欄】</p> <p>自主防災組織において、活動が停滞している組織が多いことから、宮城県自主防災組織活性化支援モデル事業の導入や、防災力向上講演会等を開催し、組織活動の活性化を図っていく。聞こえづらいとの指摘がある屋外スピーカーについては、現時点では増設は行わず、様々なツールで提供している情報を町民自ら取得してもらうよう周知に努める。</p> <p>また、水害時に使用する排水ポンプについては、迅速で安全に活用できるよう、常設も含めた検討を行っていく。</p>
委員会評価	見直しのうえ継続	<p>【委員会意見欄】</p> <p>安全・安心のまちづくりに向けて、消防団員の確保に努め、消防力や緊急時の対応能力を高めるとともに、地域防災計画等の周知により、防災、危機管理に対する町民の意識の向上を図っていくこと。</p>